



医療法人社団 海仁  
理事長 海谷 忠良

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の問題で落ち着かない1年でしたが、皆様どんなお気持ちで新年をお迎えになられましたでしょうか。

新型コロナウイルスの世界的流行は社会に多大なる影響を及ぼしました。経済の破綻、医療崩壊、東京オリンピックとパラリンピックの延期などのマイナス要因が非常に多く重なり合う1年でした。

この状態がいつまで続くのだろうかと世界中の人々が不安な毎日をお過ごしだと思います。

人生には誰にでも壁にぶつかり挫折する事がありますが、悲観的になりすぎず、信念と規律を守りながら努力を続ければ、乗り越えられない壁は無いと私は思います。

こんな時こそ「コロナに負けない」「コロナを退治するぞ」と世界中の人々が協力しあいを思いやり、努力することが大切だと思います。

日本の医療崩壊の危険性については私も医療従事者として非常に危機感を抱いており、地域医療を守るために最大限の努力をいたす所存です。





# 2020年 海仁グループ手術実績

コロナ禍ではありましたが、感染症対策を徹底することにより、手術の制限等は行わず、ほぼ前年同様の件数を施行することが出来ました。入院中の面会制限などでご不便をおかけしましたが、おかげ様で安全な手術を行うことが出来ました。患者様の感染症対策へのご協力に感謝いたします。今年は病棟の個室増加や設備・アメニティの充実などを計画しております。患者様がより安心して、質の高い医療を受けられる環境を実現いたします。

1～12月（件）※2020年12月28日現在

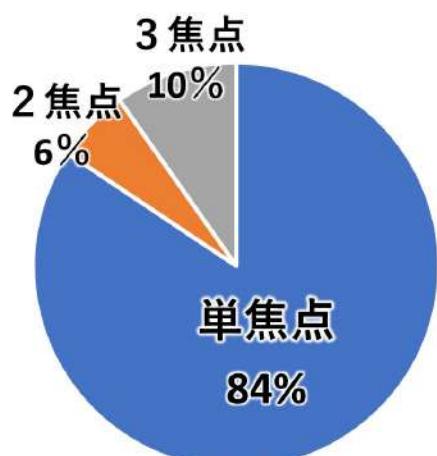
|         |     | 海谷眼科  |       | かけ川海谷眼科 |       |
|---------|-----|-------|-------|---------|-------|
|         |     | 2020年 | 2019年 | 2020年   | 2019年 |
| 白内障手術   | 単焦点 | 2,166 | 2,236 | 999     | 1,039 |
|         | 多焦点 | 401   | 427   | 41      | 40    |
| 緑内障手術   |     | 204   | 114   | 33      | 40    |
| 網膜硝子体手術 |     | 272   | 261   | 92      | 91    |
| 角膜移植手術  |     | 9     | 10    | 0       | 2     |
| 外眼部手術   |     | 255   | 317   | 106     | 94    |

## 【TOPIC】2焦点・3焦点レンズの使用率について

昨年は白内障手術における多焦点眼内レンズの先進医療制度が廃止され、選定療養制度に変更になりました。しかし、海谷眼科・かけ川海谷眼科ともに2焦点・3焦点などのプレミアムレンズを選択する患者様の減少は見られず、むしろ3焦点レンズは顕著に増加しました。これはQOV（視力の質）の向上に重きを置いて患者様がレンズを選択していることを示しており今後もこの傾向は強まると予想されます。

海谷眼科（助信町） 1～12月（件）

|       | 単焦点           | 2焦点          | 3焦点          |
|-------|---------------|--------------|--------------|
| 2019年 | 2236<br>(84%) | 360<br>(14%) | 67<br>(2%)   |
| 2020年 | 2166<br>(84%) | 150<br>(6%)  | 251<br>(10%) |





# 2021年 海仁グループ改革（4月より）

## 無駄な待ち時間をゼロへ

当グループは「患者様をいつでも受け入れる」という信念で診療を行っております。しかし残念ながら待ち時間の減少については、これまで顕著な改善には至っておらず、申し訳なく思います。

今まででは一定の時間に、一定の人数を予約するという方法で、疾患による検査や診察の時間の変化に対応できていませんでした。

今年は従来実施してきた検査と診察の分離予約に加え、診察と検査の所要時間をより考慮し、予約方法を数から時間的概念へ転換いたします。



検査が終了してから30分前後には診察室へお呼び出し出来るような仕組みに変更いたします。海谷眼科では、診察時間の前に「もうすぐ診察になります。○番診察室前でお待ちください」と案内コールを行う予定です。

## 地域医療連携の強化

私達は常々誠心誠意、最良の診断と診療を行うよう心がけております。本年は、かかりつけ医制を念頭に、地域の先生方との連携をより強化し、協力して出来るだけ多くの患者様にとって、より良く、無駄のない診療を提供できるようにと考えております。

## 専門外来設置

総合眼科として診療をより充実するため、緑内障センターに加え、糖尿病眼疾患専門外来、ドライアイの的確な診断や正しい治療を行う専門外来より良い視力を得られる屈折矯正の専門外来などの設置を計画しております。

## ロービジョンサポートの強化

パラリンピック競泳（視覚障害）金メダリスト河合純一さん（浜松市出身）のように、世界には失明又は視力が落ちてしまっても、活躍されている方がいらっしゃいます。

私達は目標として「失明者を救う」ことを掲げております。それには「失明しないための予防治療」だけでなく「ハンディキャップを抱えていても幸せな人生を歩めるようにサポートをすること」が大切です。視機能が低下し、日々の暮らしに不便を生じている方への生活指導・訓練のサポート強化によりQOL（生活の質）の向上に貢献したいと思います。



# 岩田和雄記念 海仁緑内障センター報告

海仁グループでは、2020年4月、海谷眼科内に岩田和雄記念海仁緑内障センターを開設いたしました。

センター開設の理由は、私の師匠 新潟大学名誉教授の故岩田和雄先生の緑内障研究者としての姿勢と、私の思い描いたバスコム・パーマ眼研究所への夢が重なりあったことがきっかけです。先生は90歳まで多くの人を緑内障の失明から守る為、研究に邁進して来られました。私はその姿勢を目標としており、緑内障患者様の失明を1人でも多く救うと強く決意しております。

センター長として日本緑内障学会前理事長の山本哲也先生をお迎えしました。昨年は緑内障手術を204眼（前年比90眼増加）施行し、より質の高い緑内障診療を提供出来る体制を実現しました。



故 岩田和雄 先生 (2018年12月7日 ご逝去)  
新潟大学 名誉教授 / 海谷眼科 名誉院長

海谷理事長の恩師、岩田和雄先生は「緑内障病態解説」を目指し生涯を通じて研究と診療に没頭、邁進されておりました。2010年には日本の勲章の一つである瑞宝中綬章を授与され、日本のみならず世界でも有数の緑内障研究者です。



## 井上医院様の閉院について

昨年末に、海谷眼科と共に22年にわたり診療を続けた内科・循環器科井上医院様が閉院されました。当院での手術前の全身状態の検査をはじめ、当院にご通院中の患者様も大変多くの方を診察して頂いており、我々の診療に多大なるご尽力を賜りました。

院長の井上康夫先生・職員の皆様のこれまでのご協力・ご支援に深く感謝しつつ、一方で大変残念に感じております。

井上医院様の跡は海谷眼科30周年に向け診療をより充実するべく、診察や検査のスペースとして活用する予定です。



発行元

医療法人社団 海仁

海仁グループ

検索

